

第 62 回国民体育大会(成年)石狩支部予選開催要項

1. 主催 北海道軟式野球連盟・北海道軟式野球連盟石狩支部
2. 主管 江別野球連盟
3. 開催 平成 19 年 7 月 1 日・8 日・15 日(予備日)
4. 開催場所 江別市営球場
5. 参加資格 北海道軟式野球連盟規約第 5 条第 3 項の一般チームで、石狩支部(各連盟)に登録加入している全クラスで、40 歳以上を対象とする。
6. 適用規則 2007 年公認野球規則及び別に定める特別規則を適用する。
雷雨が発生した場合を考慮して、木製バットを 2 本以上準備すること。
7. 大会規律 不正出場、その他規則違反に対しては、北海道軟式野球連盟規定に準じて処分する。
8. 使用球 (財)全日本軟式野球連盟公認 A 球(健康・トップ・マルエス・内外)を使用する
9. 参加申込 所定の申込書で参加料を添えて、各連盟事務局に 6 月 25 日(月)までに申し込みください。
10. 参加料 1 チーム大会参加料 15,000 円(各連盟に申込書に添えて納入)
11. 組合抽選 平成 19 年 6 月 27(水)支部役員並びに関係者立会いの上、厳正に代理抽選を行なう。(決定した組合せ表は、各連盟事務局より連絡する。)
12. 試合回数 大会日程を考慮して、7 回戦とし、試合成立は 4 回とする。同点の場合は延長 7 回終了時点で新しいイニングに入らず、特別延長ルールを適用する。ただし、決勝戦は 9 回戦とし、試合成立は 5 回とする。また、同点の場合は勝敗が決するまで延長戦を行う。
13. 特別延長戦 継続打順として、前の回の最終打者を 1 塁として、2 塁、3 塁の走者は順次前の打者として、無死満塁の状態にして行ない、勝敗がつくまで繰り返し行う。
14. 正式試合 点差によるコールドゲームは、4 回以降 7 点差とし、9 回戦の場合は 5 回以降 7 点差とする。日没、降雨などで 4 回以前に中止になった場合ノーゲーム、4 回を過ぎての同点の場合は原則として特別継続試合を行う。尚ベサスペンデットゲームにならない限りコールドゲームは球審が打ち切りを命じたときに終了し、その勝敗は均等回数による両チームの総得点により決する。
15. 開・閉会式 大会運営上、開会式は実施しないが、閉会式は優勝・準優勝チームの参加で実施するので、大会主管連盟事務局の指示に従うこと。
16. 北海道大会 1)この大会に優勝したチームは、石狩支部の推薦により石狩支部代表として、北海道大会に出場することを義務づける。(特段の事由により辞退し場合は、大会主管連盟及び石狩支部にて協議し、他のチームを推薦出場させる。)
2)北海道大会に参加申込したチームは如何なる理由があっても棄権や出場辞退することは許されない。棄権等をした場合、基本的には次年度の北海道大会に支部代表チームが出場できない。
3)監督主将会議の無断欠席は、大会出場を取り消す場合もあるので、必ず出席すること。
4)ルール、マナーを遵守して大会に望むこと。
17. その他 1)大会運営上、シートノックは行なわない。
2)第 1 試合のチームは試合開始予定時刻 30 分前にはオーダー用紙を用意し、直ちに試合ができるようにすること(第 2 試合以降のチームは前の試合の 4 回終了時にオーダー用紙 2 部を大会事務局に提出し、審判立会いで指導事項を確認後、先攻・後攻を決める。
3)前の試合の進行上、試合が早まる場合もあるので、試合予定時間 1 時間前までには試合に臨める状態にすること。(この場合は、選手が最低 9 名揃って速やかに試合ができる状態をいう。)
)各プレイヤー(監督・コーチ含む)は、同色、同形、同意匠のユニホーム等を使用すること。背中に名前をつける場合はローマ字で姓のみとし、同姓の者がいる場合、姓の前に名前の頭文字をいれる。この場合はチーム全員がつけること。尚、あだ名や愛称の記入は認められない。
帽子・アンダーシャツ・ストッキング・スパイク等は統一する。
5)ユニホームの左袖は「北海道」(ローマ字も可)以外は必ず開けておくこと。
6)ベンチに入れるのは、参加選手のほか責任者・マネージャー・スコアラーとする。
7)雨天の場合でも、試合は行われるので、原則当日は時間までに集合する。(自己判断しないように)但し、長雨や豪雨など順延型予想される場合、大会当日の確認を 7 時までには大会事務局に確認してください。
8)その他この要項に定めがない場合、大会事務局、審判団と協議する。
18. 大会事務局 江別野球連盟
高橋 浩 ~ 自宅電話 011-382-4188
携帯電話 090-8635-7876